



根木名川でお浜下り
(寺台保目神社祭礼)



神輿と担ぎ手に大量の水が(助崎祇園祭)



迫力ある獅子舞を奉納(麻賀多神社例大祭)

各町で威勢良い掛け声

市内の夏祭り

7月に、市内各地で夏祭りが行われました。神輿^{みこし}を担ぐ力強い声や、山車・屋台を引く威勢の良い掛け声、お囃子^{はやし}の軽快な音色が各町内に響き渡り、成田の夏をいっそう熱くしていました。



神輿が仲町を渡行(埴生神社例祭)



子どもたちも踊りを披露(飯田町琴平神社祭礼・並木町夏祭り)

水上から生き物を発見

印旛沼自然観察会

屋形船に乗って印旛沼流域の生き物を観察してもらおうと「印旛沼自然観察会」が7月22日に行われました。参加した33人は、佐倉ふるさと広場から甚兵衛渡しへ向かう屋形船から双眼鏡でアオサギを見たり、沼の水面を跳ねる魚を見たり、オオフサモをのぞきこんだりと、動植物をじっくりと観察していました。また、夏休みに入った直後とあって、学校の宿題の自由研究に役立てようという小学生の親子もいました。



遠くに見えるアオサギ(円内)を観察



声援を力に変えて泳ぎ切ろう

自分の限界に挑戦

キッズ&ジュニアトライアスロン大会

泳ぎや走りで体力と速さを競う「キッズ&ジュニアトライアスロン大会」が7月19日、中台運動公園内特設会場で開催されました。小学生(キッズの部)は低・中・高学年に分かれスイム、バイク、ランによる3種目で、中学生(ジュニアの部)、高校生以上(一般の部)はスイム、ランによる2種目を行い、その総計時間で順位を競いました。市内外から参加した155人もの選手たちは家族や友人からの声援を受け、自らの限界に挑みました。



全ての障害を突破しゴールへ

市特別救助隊が全国へ

消防救助技術関東大会

「消防救助技術関東大会」が7月31日、県消防学校(千葉市)を会場に行われ、市消防本部特別救助隊3チームのうち、引揚救助訓練の部で2チームが、障害突破訓練の部で1チームが上位入賞を果たしました。引揚救助訓練は救助者が地下やマンホールにいることを想定し、4人で塔の上に引き上げて救助するもの、障害突破訓練は経路に設けられた5カ所の障害を5人1組で突破するもので、いずれもその安全確実性と所要時間を競います。同隊は、関東地区の代表として8月27日に同会場で開催される全国大会へ出場します。

長年の功績をたたえ

市民憲章推進協議会感謝状贈呈式

より良いまちづくりの指針である市民憲章。その5カ条の理念に基づき、ボランティア活動・環境・福祉・教育などの分野で長年活動してきた6個人・1組・10団体に、市民憲章推進協議会会長から感謝状が贈呈されました。受賞者は次の通りです。(順不同・敬称略)
○高橋日出雄 ○小倉幸子 ○太田絹松 ○諸坂健男
○野村豊 ○関谷真宏 ○山口卓男・礼子 ○パソコン懇話塾 ○華道家元 池坊成田市支部 ○成田市大正琴連盟 ○山之作第一区 ○コスモス子ども会 ○伊能4区長寿会 ○吉岡第三子供会 ○美郷台小学校 ○公津の杜小学校 ○大栄中学校PTA



市民憲章の推進に貢献した皆さん

着物でアロハシャツを手作り

古着からのリメイク教室

古くなった着物や浴衣からアロハシャツを手作りする「古着からのリメイク教室」が6月18日から7月16日にかけて全5回で、久住公民館で行われました。最終回には10人の参加者がボタンを付けたり、アイロンをかけたりする傍ら、早速試着して出来栄をチェック。参加者の1人は出来上がったシャツを羽織りながら「上手に仕立てられたら夫にも作ると約束しました。これなら、夫も欲しがりそう」と笑顔で話していました。



着心地はいかが